



アスパラ通信

最上校ふれあい通信

【教育スローガン】

どの生徒も伸ばす、
伸びる生徒はさらに伸ばす。

『トピックス』

2月2日から7日まで新潟県妙高市で開催される「第69回全国高等学校スキー大会」にスキー部の結城初選手(2年)と小松光世里選手(2年)の2名が出場します。



1 スキー部が全国大会に出場!!



凡そ40年ぶりとも言われる暖冬の今年、ウィンタースポーツはあちこちで苦境に立たされています。1月初旬の山形県高等学校スキー大会アルペン競技も会場が山形市蔵王温泉スキー場から天元台スキー場に急遽変更されました。

そのような中、最上校選手3名は存分に鍛錬の成果を発揮して、2名が全国大会への出場権を勝ち取りました。残念ながら出場権を逃した佐藤選手も、昨年から大きく躍進。順位を上げて東北大会への出場権を獲得しました。

本番でのさらなる健闘を最上校の仲間と関係者が全員で応援しています。

【受験生頑張れ!!】

本紙読者の周辺にも大学入試、高校入試を控えた受験生がたくさんいるのではないのでしょうか。

最上校生徒も学業や部活動に精一杯励みつつ、来年度多くの後輩が最上校に入学してくれることを心底願っています。左記のスキー部員による快挙が大きな励みにもなっているところです。

受験の基本は健康と強い信念の持続。全ての受験生が自身との闘いに勝って目標達成できることを祈念しています。

2 「蕎麦打ち体験会」を実施しました。

「地域の方々と関わりながら主体的に物事を進める楽しさを体感し、高校卒業後も自身が暮らす地域社会に参画しようとする志を育むこと」を目的とする【地域リーダー活動訓練プログラム】の一環で「蕎麦打ち体験会」を年末に計画したところ、2名の児童に参加して頂きました。

生徒と児童それぞれが蕎麦粉とつなぎの小麦粉を混ぜ、捏ねて固め、伸ばして切る。ひき立て、打ち立て、茹でたての蕎麦は本当に美味しく、大満足の体験会になりました。参加して下さった児童、保護者、最上校農園の開墾に多大なるご支援を頂戴しました「もがみ南部商工会青年部」の皆様、ありがとうございました。



3 瀬見温泉を調べてみよう

1年生が「総合的な探究の時間」に瀬見温泉を訪れ、組合長の高橋昌裕さんから温泉の由来や最近の取組について詳しく説明していただきました。旅館の館内も案内して頂き、特に、「七宝倶楽部」の部屋には多くの生徒達が感激していました。

最上校では、最上町や関係者の皆様からのご支援の下、小規模校の利点である機動力生かして、「地域探訪」や「議会制度や労働基準法等各種法令への理解」、「平和教育」など有意義な全人教育を展開しています。今後ともご期待ください。



4 お勧めの本

- 『フーガはユーガ』 伊坂幸太郎 著
常盤優我は仙台市内のファミレスで一人の男に語り出す。双子の弟、風我の事、決して幸せでなかった子供時代の事。
- 『むらさきのスカートの女』 今村夏子 著
ホテルの客室清掃の仕事をする中で様子が変化していく女と、それを陰から見守り続ける「わたし」の狂気を、ユーモアを交えて描いた。



- 『夜が暗いとはかぎらない』 寺地はるか 著
さまざまな葛藤を抱えながら今日も頑張る人達に寄りそう、心にやさしい明かりをともし 13 の物語。
- 『レフトハンド・ブラザーフード』 知念実希人 著
誰も見ことのない、二人の絆。左手に宿る“兄”と俺。奇妙な二人の逃避行が始まる。予想不可能のラスト、切ない衝撃に涙があふれる。

【編集者コラム】・・・ 最上校が果たすべき役割 ……

3年生23名が卒業を迎えようとしています。3年間の努力が実り、海外や県内大学をはじめ多くの学校に8名が進学、15名が就職の内定を頂くことができました。日々の精進が実った進路実現を職員一同嬉しく感じるとともに、共に過ごせる時間が残り少なくなっていく寂しさも強く感じているところです。彼らの姿を見ていると、「地域に支えられ、地域を支える最上校」とはどうあるべきかを考えさせられます。

「何かをする」ことではなく、「常に自問し続ける」ことが大切なのかもしれません。卒業生の頑張りを見守り、四月に迎える沢山の新入生とともに生徒と職員が一丸となって、ご支援頂いております地域の皆様に一層貢献させていただく所存です。ご期待ください。(文責 教頭酒井)

HPも日々更新中です。
是非お楽しみください。



<http://www.shinjokita-h-b.ed.jp>

今後の予定 【2月】

- 7金 スキー授業(赤倉)
- 14金 スキー授業(赤倉)
- 18火 学校保健委員会
- 26水 学校評議員会②
- 3 学年学期末考査(~28)